



9月定例会報告

◆9月9日(水)午後7時より、「リニア中間駅について」を議題に定例会を実施しました。はじめに9月定例会担当の白井理事より、本議題に関わる主旨説明を行いました。その後、相模原市都市計画課長の石川氏より、「リニア中央新幹線が地域に与えるインパクト」をテーマに講演をいただきました。超電導リニアの技術(スピード、安全性)特徴(CO2排出量の少なさ)に納得し、相模原市に近接する山梨実験線延伸ルートに話が及ぶと一気に近づいて来た感じがいたしました。「移動時間の大幅な短縮によるリニア都市圏の出現」「相模原市のまちづくりについて」と超盛りだくさんの内容で講演は終了いたしました。◆その後、「市内駅の位置」「電磁波の人体への影響」「消費電力と供給設備建設の有無」等々いずれ劣らぬ論客ぞろいの都産研メンバーから次から次へと繰り出す質問にも、石川課長より丁寧におこたえいただきました。さらに会員より、開業時(2025年)には、わが国が抱える課題(人口減、道州制導入 etc)が顕在化してくるので、それらを念頭に入れた議論が必要との意見も出されました。あっという間に予定時間が過ぎ、定例会は終了。議論の続きは、懇親会の場へと移り未来の相模原に想像をめぐらし、楽しい時間を過ごしました。(八木 千露)



リニア中間駅について

～わたしはこう考える～

◆今、相模原においてリニア中間駅が「橋本か相模原」で政治問題まで発展しています。今まで、仲間だった者同士が二分化し益々溝が深くなりつつあるようです。こんな時こそ、都産研として解決に尽力すべき時であると思えますが、如何ですか？先日のリニア中間駅定例会の後、研究会役員からも、それぞれ「中間駅」で良いではないかとの意見に、私も大賛成で歩く歩道か空港にある幅広連結バスの様なことを考えれば解決する問題であり、そもそも、地域間紛争のような問題に発展することではなく、日本の新しい国土軸の「1(いち)駅」と考え、橋本、相模原を一体化した総合的見地から考えるべきであると思えます。◆因みに、東海道新幹線は、一編成が16車両で一車両が25mとすると400mになり駅ホームは少なくとも500m以上必要で、リニア計画もほとんど同じと考えると 700m以上は必要と思われます。そして、橋本駅と相模原駅はおおよそ、2.5kmの距離で結ばれています。2.5kmの中の 700mをどの様に捉え計画するかで解決に一步近づくような気がします。そして、上記を考えると、大きな視点で捉え相模原駅は214ヘクタールの後背地を、広域交通結節点として捉え路線バスや空港・主要都市を結ぶ長距離バスのターミナル、又は、将来構想の相模原補給廠完全返還を見据えて、効率の良いスマートシティの核になるように考えられないだろうか。そして、橋本は鉄道駅を中心にした発展と北の玄関となるような相互発展の施策を市民が知恵を絞ることが必要だと思えます。(白井 憲二)



出席者の意見(定例会の中から)

○リニア中間駅の設置には橋本駅が適していると思う。現状で、横浜線、相模線、京王相模原線の三線が通っている利便性や、商業施設などが揃っていることが、相乗効果を生むからだ。ただし、橋本駅周辺には高いビルが立ち並んでいるので、地下通る場合は工事に気を遣って頂きたいということ、環境面など総合的に考えて工事を進めてもらいたい。(西浦)

リニア中間駅が完成した際には、県外の近隣地域からの流入が考えられるので、そうした影響力を考慮した独自の地図作成の必要性があると思えます。(長崎)

リニアの開業によって相模原は、交通の結節点となることが望まれています。そのためには、相模原の未来の姿を想像した上で考える必要があります。八王子や町田、立川との連携、及び道州制の施行、日本の人口減少なども念頭に入れ、話を進めて頂きたい。(中嶋)

JR東海が、未来に向けて生き残りをかけた事業であるリニアですが、それを実現させるためには、やはり地元のコンセンサスが重要となってくるということを認識しておいて頂きたいと思えます。(八木(千))

今後の取り組みの点で、地域の相乗効果を見据えたまちづくりをして頂きたいと思えます。(唐澤)



第33回城山もみじまつりのご案内

(問い合わせ: 城山経済環境課 042-783-8066)

日時: 平成 21 年 10 月 18 日(日) 午前9時30分より～午後3時まで/場所: 城山町原宿公園(城山町原宿南3-17 二本松小学校付近)/交通機関: 【車の場合】臨時駐車場有/【バスの場合】橋本駅北口より三ヶ木行き東原宿下車徒歩7分/橋本駅南口より原宿五丁目行き原宿公園西下車徒歩1分(この路線は、1時間 1 本位しか運行しておりません) 都市産業研究会も出店いたします。ご注意! 当日の会場については、美味しい食べ物、美味しい飲み物も販売しております。飲む人は車での来場は厳禁です。



10月定例会のご案内～テーマ: 山梨県甲府市訪問/地域振興に係る現状と将来リニア開通時の展望を伺う～

日時: 10月21日(水) 7:20 相模原商工会議所前集合/場所: 甲府商工会議所、「アリア・ディ・フィレンツェ」他

◆くわしくは、次ページへ



都市産業研究会の10月定例会のご案内



山梨県 甲府市訪問

テーマ：「地域振興に係る現状と将来リニア開通時の展望を伺う」

10月定例会は、山梨県甲府市を中心とした日帰りの視察研修を行います。多くの皆様の参加をお待ちしております！

- ◇ **集合** 10月21日(水)午前7:20
相模原駅前横浜銀行前(夢大通り側)7:30 出発 (バス移動)
- ◇ **参加費**
 - 会員:3000円 オブザーバー4000円
- ◇ **内容**
 - 「地域振興に係る現状と将来リニア開通時の展望」をテーマに甲府商工会議所にお伺いし、商工会議所職員及び山梨県職員からリニア新駅への取り組みやリニアがもたらす影響を考慮した地域開発についてお話し頂く予定です。その後には、地場産業を集めた企業団地の視察に向かいます。
- ◇ **視察予定**
 - 相模原駅出発 → 甲府商工会議所にて勉強会 → 昼食 → アリア・ディ・フィレンツェ視察 → ぶどうの丘ワインカーヴ視察 → 到着相模原駅(19:30 解散予定)
- ◇ **出欠について**
t-hayashi@ssp21.or.jp あるいは [Tel 042-753-8131](tel:042-753-8131) 事務局林まで御連絡下さい。(10月14日(水)締切り)
- ◇ **視察(予定)地について** (画像はアリア・ディ・フィレンツェホームページから)
 - 「アリア・ディ・フィレンツェ」: 日本語で「フィレンツェの香り」。ジュエリー、ニット、甲州印伝など、山梨の代表的な地場産業を集めた企業団地です。
(甲府市川田町アリア205 TEL:055-220-1600 <http://www.aria.or.jp/index.html>)
 - ✓ 今回は、「アリア・ディ・フィレンツェ」内の企業、(株)印傳屋 上原勇七の視察をさせていただくことが可能になりました。伝統的工芸品である甲州印伝の世界を中心に視察します。
(甲府市川田町アリア201 TEL:055-220-1660 <http://www.inden-ya.co.jp>)
 - ※印伝 (いんでん、印傳) とは、印伝革の略であり、羊や鹿の皮をなめしたモノをいう。正式名称は「甲州印伝 (こうしゅういんでん)」細かいしぼが多くあり、肌合いよい。なめした革に染色を施し漆で模様を描いたもので、袋物などに用いられる。(ウィキペディアより抜粋)



- 「ぶどうの丘ワイン地下貯蔵庫」: 甲州市推奨の約180銘柄・約2万本のワインを一同に揃えたワインカーヴ (地下ワイン貯蔵庫) です。専用の試飲容器タートヴァン (有料: 1100円) で全てのワインを試飲できます。

山梨県甲州市勝沼町菱山 5093

TEL: 0553-44-2111

<http://www.budounooka.com/>

(画像は、「ぶどうの丘ワイン地下貯蔵庫」ホームページから)

